

プロッター5周年

記念のポップアップイベント

株式会社デザインフィル
（会田 一郎社長、東京都）は、「PLOTTER（プロッター）」ブランド創設5周年を記念したスペシャルポップアップイベントを、12月10、11日、東京・新橋のクラフトビール醸造所「Arts&Crafts KAWA ACHIYA KUNISAWA BREWING」で開催。

「PLOTTER」は、両日とも多くのプロッターファンで賑わった。2017年9月に誕生した「クリエイティブツールブランド「プロッター」は、「システマティック」なデザインツールを展開し、「プロッター」ならではの「世界観を打ち出している。



クラフトビール醸造所を会場に

帳用リフィルの概念を超えたノート形式の「リフィルメモパッド」、その使いやすさをサポートする「プロジェクトマネージャー」など新たなツールを展開し、「プロッター」ならではの「世界観を打ち出している。

今回のイベントは、リミテッドエディションアイテムの販売、人気の「レザーバインダー」フルカスタマイズに加え、「KUNISAWA BREWING」協力のもと、プロッター初のオリジナルビールをはじめ、至高の靴修理職人によるレザーバインダーのメンテナンス体験など、プロッターファンを喜ばせるプログラムを用意した。会場に使用した「KUNISAWA BREWING」は、50年以上続く印刷業を中核とする株式会社河内屋が運営するクラフトビール醸造所。新橋の新たなアート&カルチャーの発信基地として注目を集めている。また、店内のメニュー表には「プロッター」の「6穴リングレザーバインダー」が使用されている。



念願のホール インワン達成

西敬 西村宏之社長
株式会社
西敬社長・西村宏之氏は、アケボノクラウンの「天感謝ゴルフコンペ」(10月26日、北六甲カントリー倶楽部)で、ゴルフ人生で一度は達成したいと願うホールインワンを見事に達成した。

90周年大展覧会 春から4都市で

○サンエックス
サンエックス株式会社(千田洋史社長、東京都)は、「サンエックス90周年」のうちの「うちのこたちの大展覧会」を、福岡、宮城、静岡、大阪の4都市で開催する。



キャラクターが大集合

同展には同社がこれまで生み出してきた手を超えるキャラクターが大集合。展示作品をはじめ、オリジナルグッズの販売や、フォトスポットなど、盛りだくさんの内容で開催する。

昨年8月に第1弾会場として東京(松屋銀座)、10月11日には第2弾会場として北海道(東1丁目劇場)で実施し、多くの来場者で賑わった。今後の4都市での日程と会場は次の通り。
福岡 3月30~26日福岡三越 宮城 4月1日~5月21日仙台オーリス 静岡 8月2~15日遠鉄百貨店本館 大阪 8月23日~9月4日阪急つめだ本店。

再生プラから製品化 新PBの「マタクル」で展開

アスクル株式会社(吉岡晃社長、東京都)は、事業所向け通販サービス「アスクル」の「アスクル資源循環ラック」の取組みから生まれた新PBシリーズ「Matakuru(マタクル)」の新たな展開を発表した。

第1弾としては、オフィスで使用できる4種類の商品「クリアホルダーからつくったクリアホルダー」(LIH IT-LAB)、「クリアホルダーからつくったシート」(三菱鉛筆)、「クリアホルダーからつくったブリックスペン」立



クリアホルダーから作られたシートストリウム

「アスクル」シリーズは、アスクルが独自に構築した「使用済みクリアホルダー回収リサイクルスキーム」に則り、広く国内の事業所より使用済みクリアホルダーの提供を受け、分別・再資源化し、製品化を実現した。4商品は全て、ポストコンシューマー材(消費者によつて使用された材料)の再生プラスチックを原料として誕生。同社は事業所向け通販においてクリアホルダーの取扱いで高いシェアを占めてきたことから、「販売事業者として

アスクルと協業 資源循環プラットフォームで

三菱鉛筆株式会社(数原滋彦社長、東京都)は、「アスクル資源循環プラットフォーム」で回収されたクリアホルダーを軸本体に再利用した「クリアホルダーからつくったシートストリウムホルダー」を製造、アスクルより12月14日より発売されている。

この商品は、「アスクル資源循環プラットフォーム」事業により再資源化された再生樹脂のみを軸材に使用した初期の商品で、環境に配慮した商品として、企業や法人、団体のノベルティ需要に対応した商品となる。

「アスクル資源循環プラットフォーム」は、アスクルが発信する、ユーザー・製造者・販売者の架け橋となって資源循環を促進する取り組み。アスクルは、クリアホルダーが単一素材、ほぼ同一形状であることに着目し、効率のよい資源循環を実現できるという考えに基づき、2020年11月から2022年3月まで、「使用済みプラスチック製品のリサイクルバリューチェーン構築実証事業」を実施。実証事業終了後も使用済みクリアホルダーの回収を続け、回収した使用済みクリアホルダーは、約99%再資源化することができるとも確認し、再商品化に向けての取り組みを始めた。三菱鉛筆はアスクルのこの活動に参画し、再商品化に向け協業を行った。

取締役 常務執行役員
大阪支店 支店長
寺本 敬一
株式会社 竹尾 大阪支店
577-0065 東大阪市高井田中1-1-3
TEL:06-6785-2221 FAX:06-6785-2227
竹尾 淀屋橋見本帖
541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona 1F
TEL:06-6232-2240 FAX:06-6232-2270
www.takeo.co.jp

謹賀新年
大阪紙製品工業会
特別会員一同

HEIWA PAPER
この紙が
幸せな気持ちを
ふくらませる。
平和紙業株式会社
大阪支店 支店長 矢野 恵一
大阪市中央区南船場2-3-23
Tel.06-6262-1212
www.heiwapaper.co.jp

OVOL
日本紙パルプ商事株式会社
常務執行役員
関西支社支社長 松浦 伸行
大阪市中央区瓦町1-6-10
☎06(6203)2351 番(代表)

国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.
常務執行役員
関西支店支社長 北 隅 賢一
大阪市中央区安土町1-8-6
☎06(6271)2291 番(代表)
http://www.kppc.co.jp/

北越紙販売株式会社
HOKUETSU GROUP
取締役
常務執行役員
大阪支店支社長 杵村 裕之
大阪府吹田市南吹田4-20-1
☎06(7167)1250 番(代表)
本社 東京都中央区日本橋本石町3-2-2
北越製紙ビルディング5F

OZAX
オザックス株式会社
代表取締役
社長兼
会長 尾崎 豊弘
大阪市中央区博労町1-6-6
☎06(6271)2701 番(代表)

SPPは
革新と挑戦の情熱を持って時代の変化に対応し
社会とともに成長します。
新生紙パルプ商事株式会社
上席執行役員
大阪支店支社長 中山 和久
大阪市中央区南船場1-16-10
☎06(6262)8800 番(代表)
本社 東京都千代田区神田錦町1の8

「創造への挑戦」
紙の新しい可能性を拓く日本紙通商
木とともに未来を拓く
日本製紙グループ
日本紙通商株式会社
常務取締役
関西支社長 田中 敏夫
大阪市中央区備後町2-1-8(備後町野村ビル)
〒541-0051 ☎06-6222-3581(代表)